

# 小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 21

<b>1. 基本情報</b>				
<1> 事業・業務名	道路反射鏡、交通安全灯等整備事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	④ その他		<4> 継続評価 新規評価の別	新規評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	10 みんなの「絆」を大切に安全・安心で健康なくらしづくり	<6> 担当部(局)	市民生活部
	中項目	10-1 地域で安全に暮らせるまち	<7> 担当所属	生活安心課
	小項目	10-1-1 交通安全	<8> 担当係等	交通対策係
	施策	道路反対鏡、交通安全灯等の整備		
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業		
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	2 款 1 項 6 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費		千円
<15> 実施手法	直営 「その他」の場合 ( )			

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	自治会からの要望に基づきカーブミラー、交通安全灯等を設置する。							
目的	<17> 事業・業務の目的	交差点やカーブにおける交通安全のため設置することで、交通の安全を確保する。						
	<18> 事業・業務の対象	交差点やカーブを通行するドライバーや歩行者						
手段	<19> 平成30年度の活動内容	自治会からの要望に基づいて、現地調査を行い設置することが妥当かの判断を実施し、工事依頼を行った。						
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		カーブミラー設置数	件	20	16	20	19	95.0%
交通安全灯設置数	件	15	14	10	3	30.0%		
成果	<21> 事業・業務の成果	カーブミラーや交通安全灯を設置することにより、交差点やカーブの視認性が向上し、安全な通行ができるようになった。						
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度		
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)
		カーブミラー設置要望達成率	件	16	16	19	19	100.0%
交通安全灯設置要望達成率	件	14	14	3	3	100.0%		
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度		
			千円	計画	実績	計画	実績	投入率(%)
	事業費等	千円	6,900	3,686	8,540	3,747	43.9%	
	財源内訳	国・県補助金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	6,900	3,686	8,540	3,747	43.9%	
人件費	千円	5,037	5,037	5,003	5,003	100.0%		
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.7	7,195 × 0.7	7,146 × 0.7	7,146 × 0.7			
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

<b>3. Check - 評価 -</b>			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいのか?	1.大きい
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		2.向上の余地はない	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	3.改善の余地はない	理由	自治会からの要望をもとに、真に必要な場所なのかを厳密に精査し、設置しており、これ以上事業全体を改善する余地はないと考える。

## 4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	配当された予算を下回り、次年度の予算が大幅に削減されることがあるが、大規模な住宅開発や区画整理が行われると、要望件数が多くなり予算が足りなくなることが懸念される。また、過去に設置したカーブミラーの設置台数も増える一方であり、修繕費用もかさんでいることから、カーブミラーや交通安全灯を自治会に設置していただき、その費用を補助金として交付するといったことも検討する必要があると思われる。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 現時点では現状通りにすすめていくことが妥当であると思われるが、カーブミラーや交通安全灯の設置の流れは小山市独自のものであるため、他市の状況についても調査して取り入れられるものは検討していく姿勢も必要と思われる。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 交通安全という観点から市がカーブミラーや交通安全灯を設置することは重要であり現状維持が妥当であるが、財政状況も考慮して自治会が負担することも考える時期に来ていると考える。

## 5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	自治会からの要望申請に基づき、カーブミラーで約20基、交通安全灯で約10基程度の設置を見込んでいる。				
	<38> 活動・成果目標	カーブミラー及び交通安全灯を設置することで、交通安全の確保を図る。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
				千円	計画	計画
			事業費等	千円	10,000	10,000
	人件費	千円	5,000	5,000		